

平成 30 年度決算の概要

あらまし

平成30年度の決算の状況は、一般会計の実質収支額が49億27百万円、特別会計（公営企業会計（法適用）除く。以下同じ。）の実質収支額が136億65百万円でした。一般会計においては、景気の緩やかな回復が続き、企業業績が好調に推移したことなどによる法人事業税の増加などにより、実質収支額は黒字を維持しました。なお、前年度は、財源対策として財政調整基金を15億円取崩しましたが、平成30年度は取崩しを行っていません。また、減債基金の30年度末の積立不足額は1,610億92百万円となり、前年度から285億24百万円減少しました。

第 1 表

平成30年度決算状況

（単位：百万円）

区 分	予 算 現 額 (A)	歳 入 決 算 額 (B)	歳 出 決 算 額 (C)	歳 入 歳 出 差 引 額 (B) - (C) = (D)	翌年度へ繰り 越すべき財源 (E)	実 質 収 支 額 (D) - (E)
一 般 会 計	2,512,983	2,463,099	2,447,739	15,360	10,433	4,927
特 別 会 計	2,823,621	2,822,666	2,803,259	19,407	5,742	13,665
合 計	5,336,604	5,285,766	5,250,998	34,767	16,175	18,592

一 般 会 計

平成30年度の一般会計決算の状況は、第2表のとおりです。

歳入総額は2兆4,630億99百万円、前年度から5,488億3百万円減少（増減率△18.2%）しました。歳出総額は2兆4,477億39百万円、前年度から5,523億94百万円減少（増減率△18.4%）しました。地方消費税清算特別会計の設置や府費負担教職員制度の見直しに伴う指定都市への税源移譲等により、歳入総額、歳出総額ともに前年度から大きく減少しました。

歳入歳出差引の形式収支額153億60百万円から、歳入総額の中に含まれる令和元年度の事業に充てなければならない財源（翌年度へ繰り越すべき財源）を差し引いた実質収支額は49億27百万円、前年度から20億78百万円増加しました。

なお、一般会計決算額の推移は、第3表のとおりです。

第 2 表

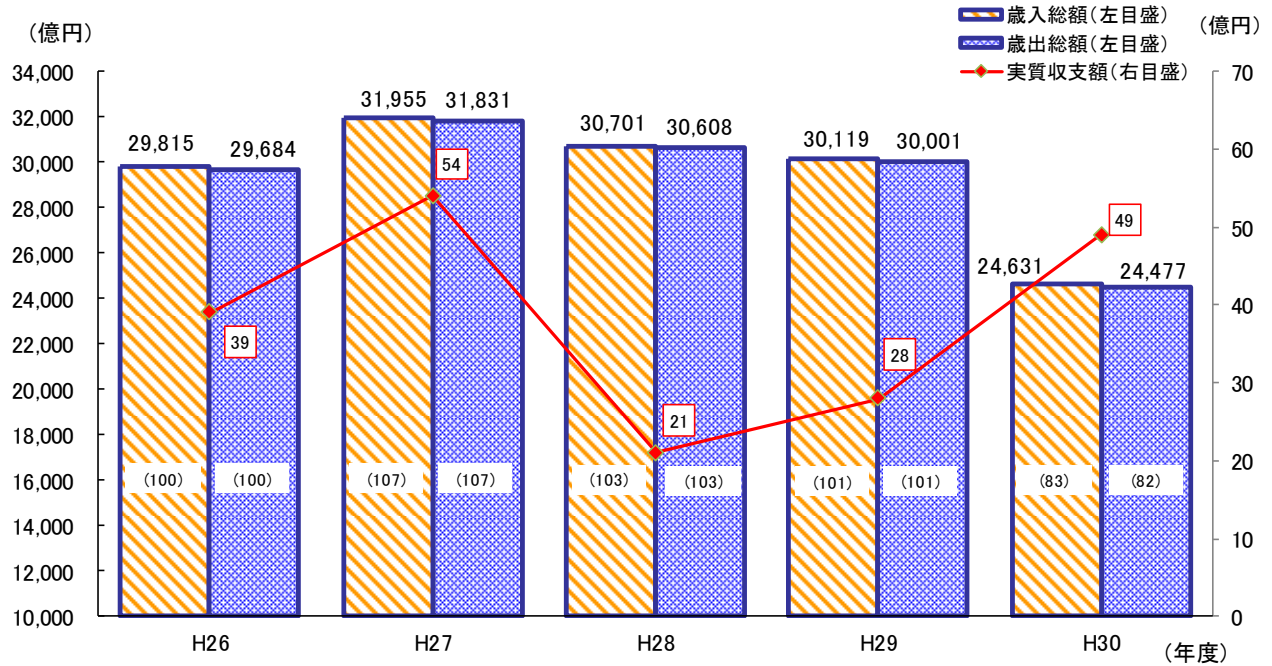
一般会計決算の状況

（単位：百万円）

	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比較	
			増減額 (A) - (B) = (C)	増減率 (C) / (B) %
予 算 現 額 (1)	2,512,983	3,058,515	△ 545,532	△ 17.8
歳 入 総 額 (2)	2,463,099	3,011,902	△ 548,803	△ 18.2
歳 出 総 額 (3)	2,447,739	3,000,133	△ 552,394	△ 18.4
差 引 (2) - (3) = (4)	15,360	11,769	3,591	—
翌年度へ繰り越すべき財源 (5)	10,433	8,920	1,513	—
実 質 収 支 額 (4) - (5) = (6)	4,927	2,849	2,078	—

第3表

一般会計決算額の推移



(注) 1 () 内の数字は、H26を100とした場合の指数。
 2 各年度の歳入は、翌年度へ繰り越すべき財源を含む歳入総額。

■ 歳入

平成30年度の一般会計歳入決算の状況は、第4表のとおりです。

予算現額2兆5,129億83百万円に対して、収入済額は2兆4,630億99百万円、前年度から5,488億3百万円減少し、収入率は98.0%となりました。主な要因は、地方消費税清算特別会計の設置や府費負担教職員制度の見直しに伴う指定都市への税源移譲等により地方消費税清算金が2,986億50百万円、府税が2,220億25百万円、それぞれ減少したことなどによるものです。

なお、予算現額と収入済額の差が大きいものは、府債(△247億66百万円)、国庫支出金(△184億66百万円)などです。

第4表

一般会計歳入決算の状況

(単位：千円)

款名	平成30年度						平成29年度		比較 (B)-(C)
	予算現額		収入済額		収入率 (B)/(A)	比較 (B)-(A)	収入済額		
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比			金額 (C)	構成比	
府税	1,281,820,000	51.0	1,277,829,588	51.9	99.7	△ 3,990,412	1,499,854,889	49.8	△ 222,025,302
地方消費税清算金	0	0.0	0	0.0	-	0	298,650,106	9.9	△ 298,650,106
地方譲与税	155,948,000	6.2	156,057,887	6.3	100.1	109,887	138,403,444	4.6	17,654,443
市町村たばこ税府交付金	339,800	0.0	339,800	0.0	100.0	0	993,534	0.0	△ 653,734
地方特例交付金	3,719,332	0.1	3,719,332	0.1	100.0	0	3,268,273	0.1	451,059
地方交付税	234,960,303	9.3	235,973,940	9.6	100.4	1,013,637	244,770,190	8.1	△ 8,796,250
交通安全対策特別交付金	1,790,000	0.1	1,710,308	0.1	95.5	△ 79,692	1,851,750	0.1	△ 141,442
分担金及び負担金	4,363,281	0.2	4,215,681	0.2	96.6	△ 147,600	3,594,909	0.1	620,772
使用料及び手数料	31,891,074	1.3	31,649,352	1.3	99.2	△ 241,722	32,182,545	1.1	△ 533,193
国庫支出金	203,509,490	8.1	185,043,790	7.5	90.9	△ 18,465,700	204,905,402	6.8	△ 19,861,612
財産収入	7,550,431	0.3	8,971,389	0.4	118.8	1,420,958	8,366,978	0.3	604,411
寄附金	1,088,925	0.0	1,214,002	0.0	111.5	125,077	280,223	0.0	933,779
繰入金	25,725,668	1.0	20,929,283	0.8	81.4	△ 4,796,385	16,153,612	0.5	4,775,671
繰越金	8,919,541	0.4	8,919,541	0.4	100.0	0	7,157,201	0.3	1,762,340
諸収入	285,290,939	11.4	285,224,913	11.6	100.0	△ 66,026	311,062,948	10.3	△ 25,838,035
府債	266,066,334	10.6	241,300,333	9.8	90.7	△ 24,766,001	240,406,000	8.0	894,333
合計	2,512,983,118	100.0	2,463,099,139	100.0	98.0	△ 49,883,979	3,011,902,005	100.0	△ 548,802,866

【参考】

府税収入の状況

(単位：千円)

区分	平成30年度						平成29年度			比較 (B) - (C)
	予算現額		収入済額		収入率 (B) / (A)	比較 (B) - (A)	収入済額			
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比			金額 (C)	構成比		
府民税	379,238,000	29.6	378,444,926	29.6	99.8	△ 793,074	431,749,134	28.8	△ 53,304,208	
個人	296,139,000	23.1	296,591,053	23.2	100.2	452,053	353,879,642	23.6	△ 57,288,590	
法人	78,085,000	6.1	76,933,270	6.0	98.5	△ 1,151,730	72,596,507	4.8	4,336,763	
子割	5,014,000	0.4	4,920,603	0.4	98.1	△ 93,397	5,272,984	0.4	△ 352,382	
事業税	383,349,000	29.9	380,339,155	29.8	99.2	△ 3,009,845	371,060,235	24.7	9,278,920	
個人	15,465,000	1.2	15,418,196	1.2	99.7	△ 46,804	15,138,217	1.0	279,979	
法人	367,884,000	28.7	364,920,959	28.6	99.2	△ 2,963,041	355,922,018	23.7	8,998,941	
地方消費税	332,960,000	26.0	332,598,724	26.0	99.9	△ 361,276	510,936,615	34.1	△ 178,337,892	
不動産取得税	34,613,000	2.7	35,226,648	2.8	101.8	613,648	36,388,004	2.4	△ 1,161,355	
府たばこ税	11,177,000	0.9	11,092,789	0.9	99.2	△ 84,211	11,365,440	0.8	△ 272,651	
ゴルフ場利用税	1,323,000	0.1	1,339,097	0.1	101.2	16,097	1,424,627	0.1	△ 85,530	
自動車取得税	11,907,200	0.9	11,797,582	0.9	99.1	△ 109,618	11,078,627	0.7	718,956	
軽油引取税	47,982,800	3.7	47,717,842	3.7	99.4	△ 264,958	47,262,054	3.1	455,788	
自動車税	78,446,000	6.1	78,471,140	6.1	100.0	25,140	77,787,968	5.2	683,172	
鉱区税	40	0.0	40	0.0	101.0	0	40	0.0	0	
固定資産税	8,000	0.0	8,878	0.0	111.0	878	—	—	8,878	
狩猟税	7,960	0.0	8,294	0.0	104.2	334	7,819	0.0	475	
宿泊税	779,000	0.1	756,408	0.1	97.1	△ 22,592	770,996	0.1	△ 14,588	
旧法による税	29,000	0.0	28,065	0.0	96.8	△ 935	23,330	0.0	4,734	
合計	1,281,820,000	100.0	1,277,829,588	100.0	99.7	△ 3,990,412	1,499,854,889	100.0	△ 222,025,302	

■ 歳出

平成30年度の目的別一般会計歳出決算の状況は、第5表のとおりです。

予算現額2兆5,129億83百万円に対して、支出済額は2兆4,477億39百万円、前年度から5,523億94百万円減少し、支出率は97.4%となりました。支出済額の構成比の高いものは、小・中・高等学校教職員の給与費や私立学校教育の振興補助金などを含む教育費が5,307億69百万円（21.7%）、府債の元利償還を行う公債管理特別会計に対する繰入金などを含む諸支出金が5,293億57百万円（21.6%）、後期高齢者医療関係経費や介護給付費負担金などを含む福祉費が4,962億36百万円（20.3%）です。

なお、予算現額との差額のうち321億46百万円は、道路、河川等の建設事業などの一部の事業について、関係機関等との調整に時間を要したことなどにより、令和元年度へ繰り越しました。

第5表

一般会計歳出決算の状況（目的別）

(単位：千円)

款名	平成30年度						平成29年度			比較 (B) - (D)
	予算現額		支出済額		支出率 (B) / (A)	繰越額 (C)	不用額 (A) - (B) - (C)	支出済額		
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比				金額 (D)	構成比	
議会費	2,573,544	0.1	2,519,982	0.1	97.9	0	53,562	2,480,232	0.1	△ 8,843
総務費	109,871,556	4.4	106,960,333	4.4	97.4	173,092	2,738,131	101,386,151	3.4	△ 1,670,507
福祉費	506,618,272	20.2	496,236,302	20.3	98.0	2,121,916	8,260,054	503,673,440	16.8	1,328,366
健康医療費	75,389,650	3.0	73,155,298	3.0	97.0	108,000	2,126,352	84,447,000	2.8	△ 37,329,947
商工労働費	261,364,394	10.4	260,959,388	10.7	99.8	0	405,007	277,039,094	9.2	△ 31,700,429
環境農林水産費	23,147,159	0.9	16,127,140	0.7	69.7	6,014,366	1,005,653	18,069,388	0.6	△ 2,834,828
都市整備費	181,008,255	7.2	155,087,317	6.3	85.7	20,232,715	5,688,223	157,720,628	5.3	△ 4,233,817
住宅まちづくり費	8,455,952	0.3	6,245,593	0.2	73.9	1,775,377	434,982	5,463,778	0.2	△ 129,945
警察費	269,119,975	10.7	265,402,819	10.8	98.6	279,840	3,437,316	265,167,764	8.8	1,608,507
教育費	538,828,176	21.4	530,769,221	21.7	98.5	652,818	7,406,137	529,577,657	17.6	△ 147,127,979
災害復旧費	6,537,451	0.3	4,918,809	0.2	75.2	788,228	830,414	2,031,010	0.1	4,784,997
諸支出金	529,795,605	21.1	529,356,927	21.6	99.9	0	438,678	1,053,076,954	35.1	△ 395,765,559
予備費	273,130	0.0	0	—	—	0	273,130	0	—	—
合計	2,512,983,118	100.0	2,447,739,130	100.0	97.4	32,146,352	33,097,636	3,000,133,095	100.0	△ 613,079,984

平成30年度の性質別一般会計歳出決算の状況は、第6表のとおりです。

支出済額は前年度から5,523億94百万円減少しましたが、その主な要因は、府費負担教職員制度の見直しにあたり平成29年度限りで措置していた個人府民税所得割交付金が皆減となったことなどにより負担金、補助金、交付金等が5,627億82百万円、国民健康保険財政安定化基金積立金の減少などにより積立金が190億3百万円、それぞれ減少したことなどによるものです。

支出済額の構成比の高いものは、後期高齢者医療関係経費などの公費負担事業や私立学校への助成費などを含む負担金、補助金、交付金等が8,219億42百万円（33.6%）、人件費が6,726億17百万円（27.5%）、公債費が3,159億10百万円（12.9%）です。

第 6 表

一般会計歳出決算の状況（性質別）

（単位：千円）

区 分	平成30年度		平成29年度		比較 (A) - (B)
	支出済額 (A)	構成比	支出済額 (B)	構成比	
人 件 費	672,616,512	27.5	679,289,385	22.6	△ 6,672,873
物 件 費	61,573,231	2.5	60,775,467	2.0	797,764
扶 助 費	50,494,605	2.1	52,679,685	1.8	△ 2,185,080
負担金、補助金、交付金等	821,941,791	33.6	1,384,723,798	46.2	△ 562,782,007
維持補修費	16,439,161	0.7	14,025,486	0.5	2,413,675
建設事業費	162,391,721	6.6	152,677,531	5.1	9,714,190
出 資 金	6,546,060	0.3	1,027,013	0.0	5,519,047
貸 付 金	248,252,707	10.1	266,140,539	8.9	△ 17,887,833
積 立 金	34,849,408	1.4	53,853,220	1.8	△ 19,003,813
繰 出 金	56,724,163	2.3	22,138,233	0.7	34,585,929
公 債 費	315,909,772	12.9	312,802,738	10.4	3,107,034
合 計	2,447,739,130	100.0	3,000,133,095	100.0	△ 552,393,965

（注）府債の元利償還金は、公債管理特別会計を設置して経理しているが、ここに掲げる公債費は、公債管理特別会計への繰出金（減債基金への積立金を除く。）を含めたもの。

特別会計

平成30年度の日本万国博覧会記念公園事業特別会計ほか15特別会計の歳入歳出決算の状況は第7表、その前年度比較は第8表のとおりです。

第 7 表

特別会計歳入歳出決算の状況

（単位：千円）

会 計 名	予 算 現 額			収入済額 (B)	支出済額 (C)	収入率 (B) / (A)	支出率 (C) / (A)
	最終予算額	繰越額	計 (A)				
日本万国博覧会記念公園事業	4,176,424	64,430	4,240,854	3,962,481	3,961,535	93.4	93.4
就農支援資金等	13,602		13,602	54,757	12,929	402.6	95.1
大阪府営住宅事業	123,963,659	5,543,789	129,507,448	121,485,974	115,634,915	93.8	89.3
港湾整備事業	10,389,382	35,934	10,425,316	11,929,666	10,141,838	114.4	97.3
関西国際空港関連事業	17,220,276		17,220,276	17,212,127	17,212,122	100.0	100.0
箕面北部丘陵整備事業	15,610,324	1,134,322	16,744,646	16,959,365	16,529,697	101.3	98.7
不動産調達	5,859,644		5,859,644	5,937,327	5,859,640	101.3	100.0
市町村施設整備資金	12,020,424		12,020,424	12,020,430	12,019,879	100.0	100.0
公債管理	972,677,046		972,677,046	972,677,028	972,046,935	100.0	99.9
地方消費税清算	804,594,000		804,594,000	804,231,948	804,231,948	100.0	100.0
証紙収入金整理	5,354,507		5,354,507	5,253,261	5,253,261	98.1	98.1
母子父子寡婦福祉資金	1,483,451		1,483,451	1,591,539	637,939	107.3	43.0
国民健康保険	840,423,704		840,423,704	844,305,314	836,929,541	100.5	99.6
中小企業振興資金	3,000,410		3,000,410	4,839,553	2,783,180	161.3	92.8
沿岸漁業改善資金	39,013		39,013	128,159	3,654	328.5	9.4
林業改善資金	16,319		16,319	77,534	291	475.1	1.8
合 計	2,816,842,185	6,778,476	2,823,620,661	2,822,666,461	2,803,259,305	100.0	99.3

第8表

特別会計歳入歳出決算前年度比較

(単位：千円)

会 計 名	歳 入			歳 出			歳入歳出差引	
	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	比較 (A) / (B)	平成30年度 (C)	平成29年度 (D)	比較 (C) / (D)	平成30年度 (A) - (C)	平成29年度 (B) - (D)
日本万国博覧会記念公園事業	3,962,481	5,721,232	69.3	3,961,535	5,119,171	77.4	945	602,061
就農支援資金等	54,757	63,730	85.9	12,929	15,036	86.0	41,828	48,695
大阪府営住宅事業	121,485,974	128,262,301	94.7	115,634,915	122,865,738	94.1	5,851,059	5,396,563
港湾整備事業	11,929,666	10,348,542	115.3	10,141,838	9,474,540	107.0	1,787,828	874,002
関西国際空港関連事業	17,212,127	13,011,322	132.3	17,212,122	13,011,316	132.3	5	6
箕面北部丘陵整備事業	16,959,365	13,657,952	124.2	16,529,697	12,969,948	127.4	429,667	688,004
不動産調達	5,937,327	10,426,761	56.9	5,859,640	10,348,746	56.6	77,687	78,014
市町村施設整備資金	12,020,430	17,538,334	68.5	12,019,879	17,537,883	68.5	551	450
公債管理	972,677,028	1,015,576,700	95.8	972,046,935	1,014,818,745	95.8	630,093	757,955
地方消費税清算	804,231,948	-	-	804,231,948	-	-	0	-
証紙収入金整理	5,253,261	10,716,208	49.0	5,253,261	10,280,265	51.1	0	435,944
母子父子寡婦福祉資金	1,591,539	1,485,291	107.2	637,939	491,481	129.8	953,600	993,810
国民健康保険	844,305,314	-	-	836,929,541	-	-	7,375,773	-
中小企業振興資金	4,839,553	21,488,662	22.5	2,783,180	19,297,743	14.4	2,056,372	2,190,919
沿岸漁業改善資金	128,159	119,706	107.1	3,654	16,555	22.1	124,505	103,150
林業改善資金	77,534	90,473	85.7	291	15,289	1.9	77,243	75,185
流域下水道事業	-	93,683,148	-	-	78,986,006	-	0	14,697,141
合 計	2,822,666,461	1,342,190,363	210.3	2,803,259,305	1,315,248,465	213.1	19,407,156	26,941,899

(注) 「流域下水道事業」については、平成30年度より特別会計から公営企業会計へ移行している。

翌年度繰越額

平成30年度の一般会計繰越額の状況は第9表、特別会計繰越額の状況は第10表のとおりです。

平成30年度において予算計上したもののうち、事業の実施にあたって関係機関等との調整や市町村等の事業主体における事業の遅延などやむを得ない事情により年度内にその支出が終わらず、繰越明許費として令和元年度へ繰り越したものは、一般会計で321億46百万円、日本万国博覧会記念公園事業特別会計など4つの特別会計の合計で107億98百万円となりました。なお、事故繰越しとして令和元年度へ繰り越したものは、一般会計、特別会計のいずれにもありません。

第9表

平成30年度一般会計繰越額の状況

(単位：千円)

区分	款 名	事 業 名	翌年度繰越額	翌年度へ繰り越すべき財源
繰越明許費	総務費	被災者生活再建支援事業費 ほか	173,092	169,584
	福祉費	児童福祉施設等災害復旧事業費補助金 ほか	2,121,916	1,551,139
	健康医療費	2019年G20サミット救急・災害医療体制整備事業費	108,000	0
	環境農林水産費	被災農業者向け経営体育成支援事業費 ほか	6,014,366	1,617,878
	都市整備費	道路改良費 ほか	20,232,715	6,411,730
	住宅まちづくり費	密集住宅市街地整備促進事業費 ほか	1,775,377	453,731
	警察費	施設管理費	279,840	11,106
	教育費	特別教室等空気調節設備整備費 ほか	652,818	115,738
	災害復旧費	土木施設災害復旧費 ほか	788,228	101,605
	小 計		32,146,352	10,432,511
	事故繰越し		-	-
	合 計		32,146,352	10,432,511

第 10 表

平成30年度特別会計繰越額の状況

(単位：千円)

区分	会 計 名	翌年度繰越額	翌年度へ繰り越すべき財源
繰越 明許 費	日本万国博覧会記念公園事業特別会計	78,781	0
	大阪府営住宅事業特別会計	10,564,811	5,622,309
	港湾整備事業特別会計	86,089	86,089
	箕面北部丘陵整備事業特別会計	68,163	34,081
	小 計	10,797,844	5,742,479
	事 故 繰 越 し	-	-
	合 計	10,797,844	5,742,479

主な財政分析指標等

平成30年度決算における主な財政分析指標等は、次のとおりです。

(地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく財政健全化判断比率等については、P.8～P.14参照)

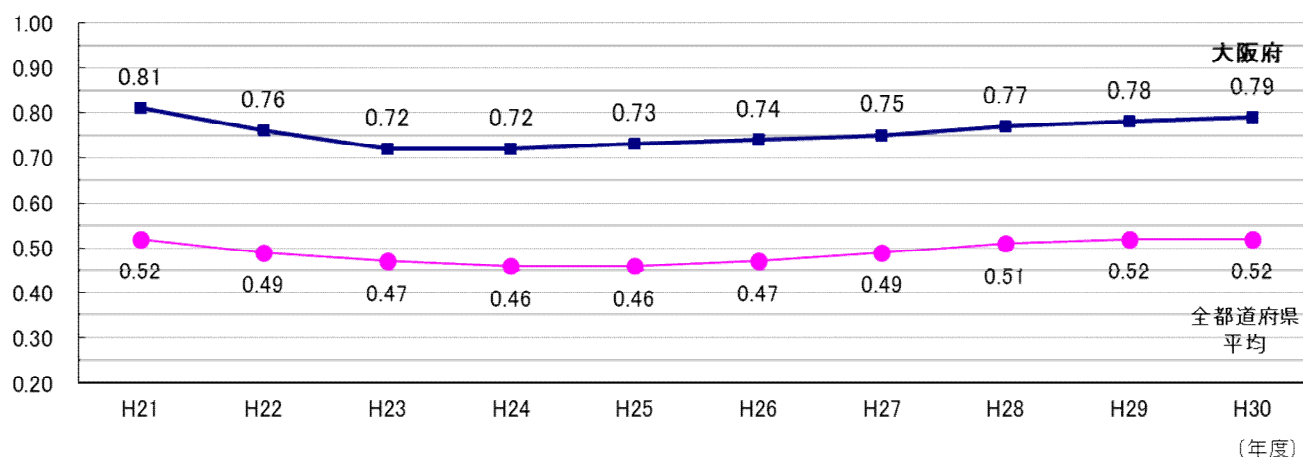
■ 財政力指数

財政力指数は、地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値です。指数が高いほど財源に余裕があるものとされています。平成30年度の指数(小数点第3位未満四捨五入)は0.79となり、前年度に比べて0.01ポイント増加しました。

なお、財政力指数の推移は、第11表のとおりです。

第 11 表

財政力指数の推移



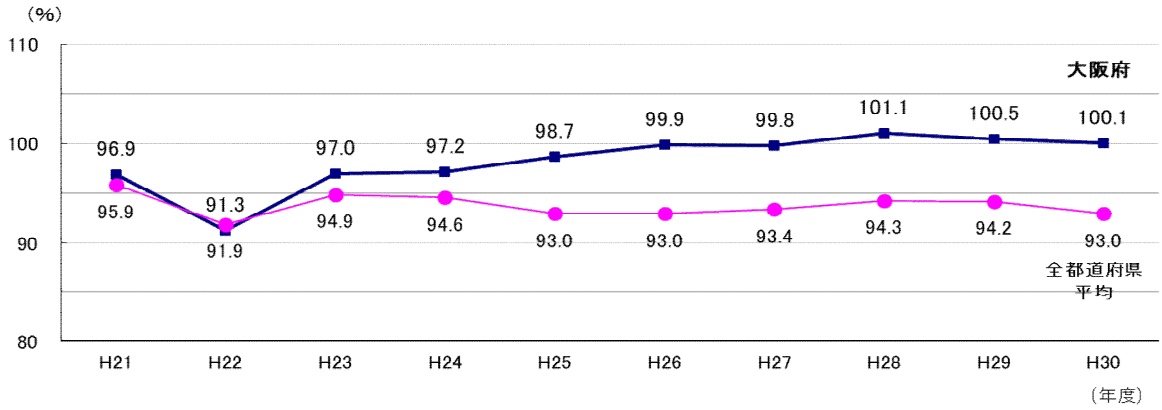
■ 経常収支比率

経常収支比率は、人件費、扶助費、公債費等の毎年経常的に支出される経費(経常経費)が、地方税、普通交付税などを中心とする経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、臨時財政対策債及び減収補填債(特例分)の合計額に占める割合であり、この割合が低いほど財政構造に弾力性があるとされています。平成30年度の比率は100.1%となり、前年度に比べて0.4ポイント減少しました。比率算定式の分母となる経常一般財源の収入総額は、法人二税や地方法人特別譲与税の増加などにより前年度から1.1ポイント増加し、比率算定式の分子となる経常経費に充当された一般財源は、社会保障関係経費の増加などにより前年度から0.7ポイント増加しました。

なお、経常収支比率の推移は、第12表のとおりです。

第 12 表

経常収支比率の推移



(注) 経常収支比率の算定式は次のとおり。なお、経常一般財源の収入総額には、平成13年度から減税補填債及び臨時財政対策債を、平成19年度からは臨時財政対策債及び減収補填債（特例分）を含む。

$$\text{経常収支比率 (\%)} = \frac{\text{経常的経費に充当された一般財源額}}{\text{経常一般財源の収入総額}} \times 100$$

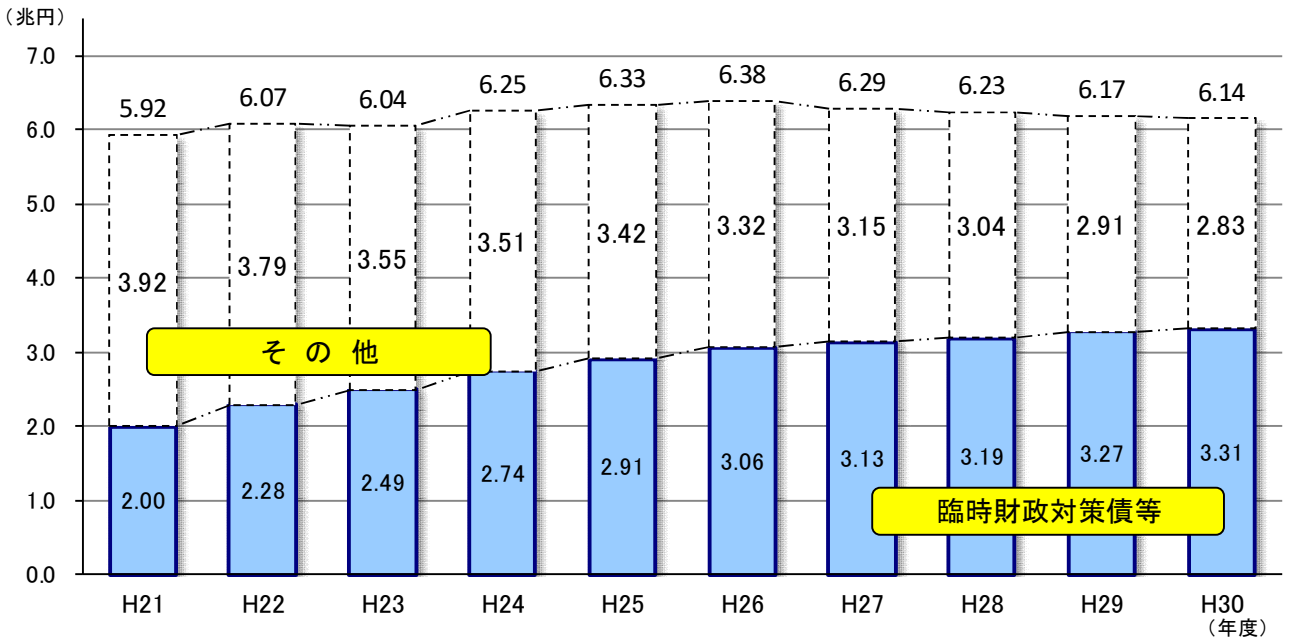
■ 府債残高

平成30年度決算における全会計の府債残高は6.14兆円、前年度から0.03兆円減少しました。府債残高のうち、臨時財政対策債等の残高は3.31兆円、前年度から0.04兆円増加する一方、臨時財政対策債等を除いた残高は2.83兆円となり、0.08兆円減少しました。

なお、全会計府債残高の推移は、第13表のとおりです。

第 13 表

全会計府債残高の推移



(注) 臨時財政対策債等とは、税または地方交付税の代替として発行する地方債（臨時財政対策債、減税補填債、減収補填債、臨時税収補填債）。